

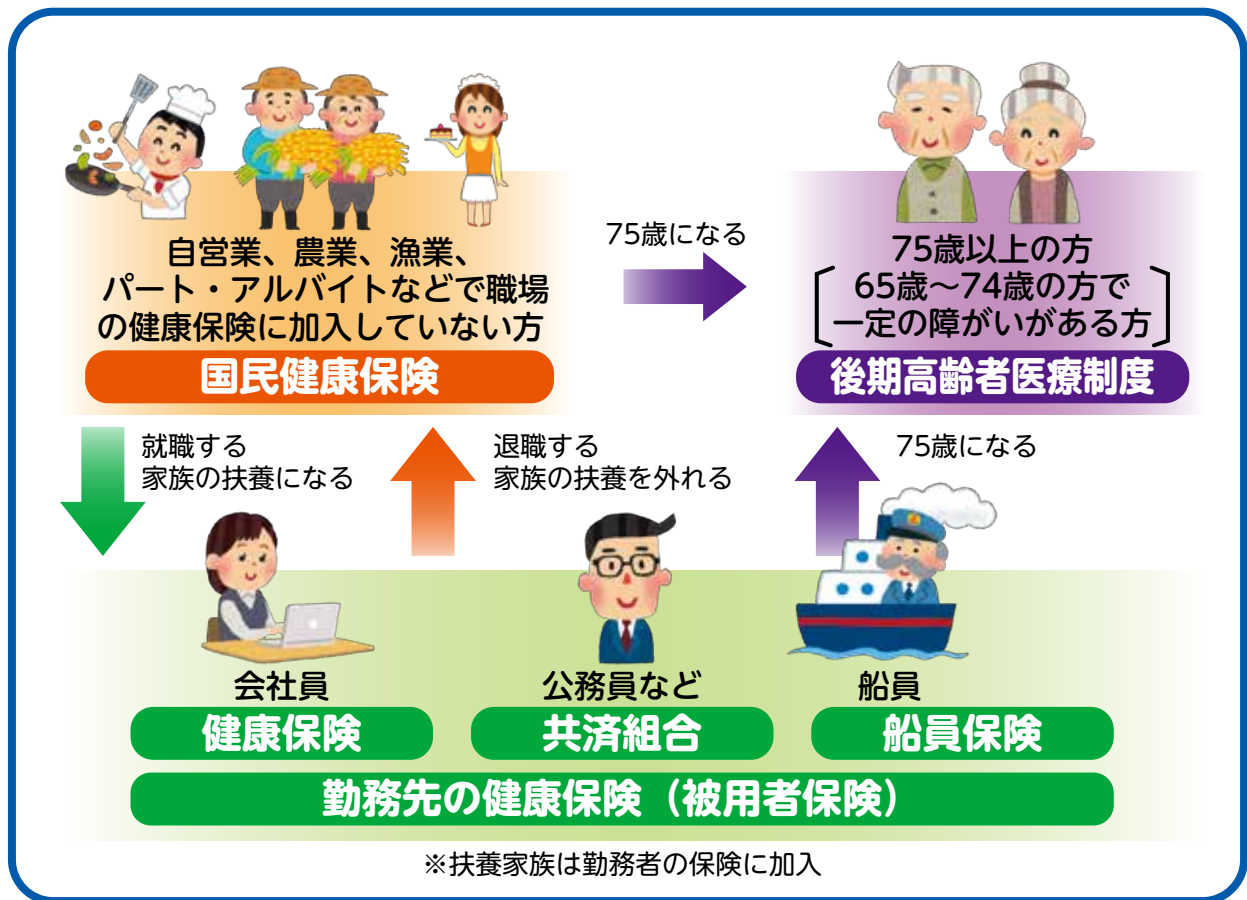
5 知っておきたい医療保険制度

日本では、すべての国民が公的医療保険制度に加入し、保険料を負担しています。この「国民皆保険制度」によって、誰もがどの医療機関でも医療費の一部を負担することで医療を受けることができます。

●医療保険の種類

医療保険はいくつか種類があります。それぞれが運営団体（保険者）となり、保険料(税)の徴収や窓口自己負担分以外の医療費の支払いをしています。

保険の種類が異なっても、医療機関での窓口負担の割合など、受けられるサービスはほぼ同じです。（国民健康保険の制度改正により内容が変更になる場合があります）



医療機関窓口での自己負担割合

年齢や所得状況などにより、自己負担割合が異なります。



※国民健康保険と後期高齢者医療制度について、詳しくは柏崎市国保医療課・刈羽村福祉保健課へ

医療との上手な付き合い方

かかりつけ医のすすめ

休日・夜間の救急診療

救急車の利用の仕方

知っておきたい医療保険制度

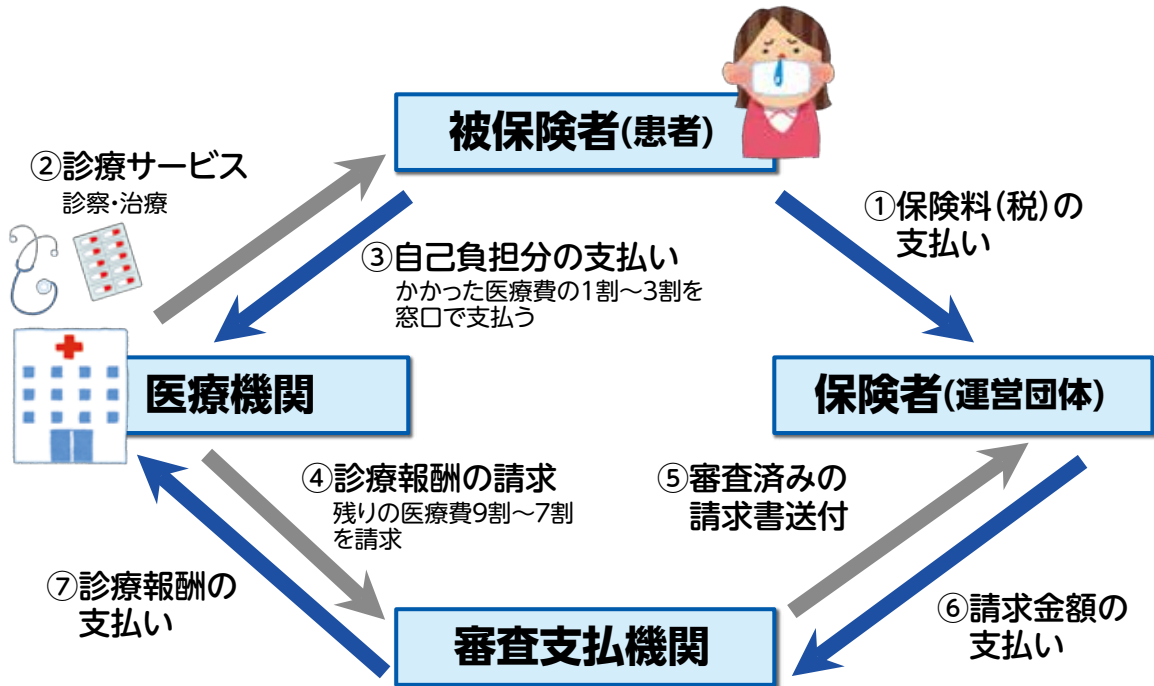
知っておきたい介護保険制度

役立つふろく

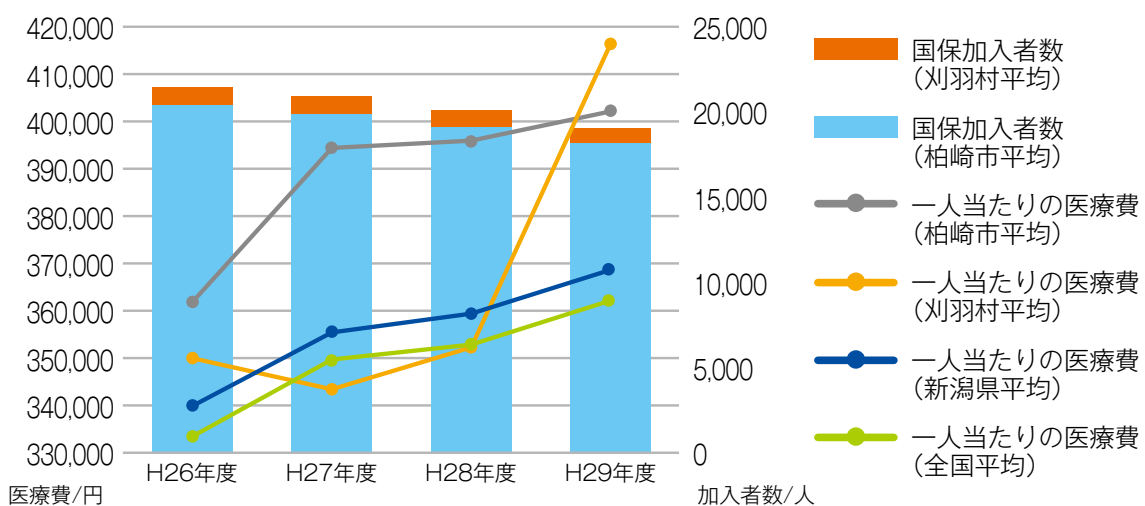
●医療保険制度のしくみ

国民の医療費総額は43兆710億円（平成29年度）でした。そのうち、みなさんが医療機関に支払う窓口負担額は、医療費全体の1割～3割です。残りの多くは、公費（税金）、雇用主負担（企業）および保険加入者が負担する保険料（税）などで賄われています。

医療費負担のイメージ



柏崎市・刈羽村 国民健康保険(国保)の医療費



国保加入者一人当たりの医療費(平成29年度)は、柏崎市402,114円、刈羽村416,389円で、全国平均362,159円・新潟県平均368,638円を上回っています。

国保全体の医療費は、国保加入者数の減少に伴い減少傾向にありますが、高度な医療の普及などにより、一人当たりの医療費は増加傾向にあります。

出典：新潟県国民健康保険団体連合会「目で見る国保」

●医療費の節約

医療費はなぜ増えるのでしょうか？

高齢者人口の増加とともに、医療機関を受診する高齢者の割合が高まり、医療費の増大につながります。

また、医学の進歩による新しい技術、薬・器具や機械が使われるようになると、これらに必要な費用も加わります。

特に問題になっているのは、高血圧・糖尿病など、生活習慣病といわれる慢性的な病気の増加です。これらの治療は長期にわたるため、医療費が増えてしまいます。



健康診査を受けましょう

柏崎市・刈羽村では、生活習慣病の予防やがんの早期発見・早期治療を目的として、各種健康診査を実施しています。平成20年度からは、40歳～74歳までを対象にメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査が始まりました。

しかし、特定健康診査の受診率は柏崎市51.0%、刈羽村60.8%（平成30年度）にとどまっています。

医療費を節約するには…

一番のよい方法は、病気の予防をこころがけることです。

自分にできることから始めてみましょう。

- ◆生活習慣病の予防
- ◆健康診査などによる病気の早期発見・早期治療
- ◆かかりつけ医を持つ（P3参照）
- ◆医療機関の適正利用
- ◆ジェネリック医薬品の活用（P6参照）など

安易な『はしご受診』はやめましょう

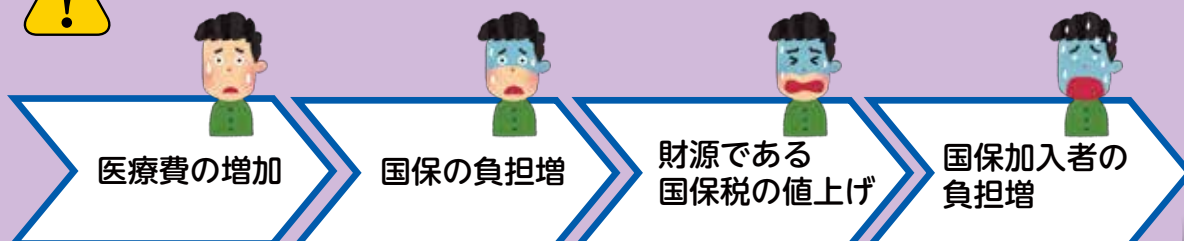
「診断結果に納得がいかない」、「処方してもらった薬が効かないような気がする」など、同じ病気でもいくつもの医療機関を転々と受診することを『はしご受診』といいます。

自分では最善の治療方法を探しているつもりでも、医療費や時間を浪費し、からだへの負担もかかります。

診療内容や処方された薬に疑問があるときは、まずかかりつけ医やかかりつけ薬局に相談しましょう。



医療費が増え続けると、国保税の値上げとなります!!



(国保の例)

医療との上手な付き合い方

かかりつけ医のすすめ

休日・夜間の救急診療

救急車の利用の仕方

知っておきたい医療保険制度

知っておきたい介護保険制度

役立つふろく